

東西名言辭典

有原末吉編

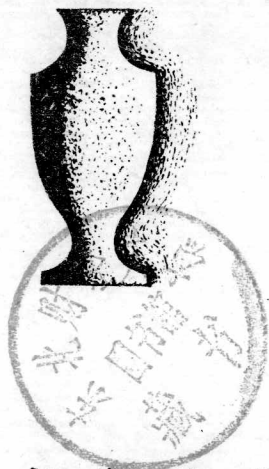




290427

東西名言辭典

有原末吉編



東京堂出版

675774

編者略歴

熊本県出身。東京高等師範学校国文科、同倫理教育専攻科卒業。同校助教、東京府立第一高等科教授、同校町高等女学校校長、同都立駒場高等学校校長、実践女子大学教授、同大学名誉教授を歴任。

著書『生活の倫理』『談話と人生』『談話学概論』『教訓例話辞典』住所—東京都大田区田園調布本町

一一一〇



東西名言辭典

定価二〇〇円

昭和四四年三月一五日 初版発行
昭和五八年六月一日 一五版発行

編者 有原末吉

発行者 岩出貞夫

印刷所 凸版印刷株式会社

製本所 渡辺製本株式会社

発行所 株式会社 東京堂出版

東京都千代田区神田錦町三ノ七(一〇二)
電話東京 三三二二二 振替東京 早三三

S 86 31 116 2 168

東西名言辭典

130,000280

1523-144093-5164

© Suekichi Arihara 1969

序

我が人生の行路は決して安易なものではない。あるいは順風満帆ともいうべき日はきわめて少なく、ある時は右せんか左せんかと思ひ惑ひ、去就を決し兼ねることが少なくあるまい。このような時、我らにその行くべき道を示し、我らを適所に導いてくれるものは、実に先哲賢人たちが我らに遺してくれた幾多の名言である。たとえばかの名僧沢庵和尚は「溝をば、ずんと飛べ、ためらわば、はまるぞ」という名言を我らに遺してくれた。我らは何かの仕事を始めようとする時、それにはまず十分の計画を立てなければならぬが、すでに斯うと決心した以上は、溝を飛び越す時のあの心構えをもって、思い切つて側目わきめもふらず突進しなければならぬ。あまりに用心深く、と見こう見していたならば、ぼちゃんと溝の水にはまるように、見ごとに失敗するにちがいない。多くの名言はかくの如く、我らの人生生活に誤りなき進路を示してくれるのである。

それらの名言の数は、天上の星の数にも比すべき多くのものがあげられるであらう。我らはまず、それらの名言の多くを遺してくれた、先哲賢人に対して感謝の誠を捧げなければならぬ。そ

れはいかなる財宝にも代え難い、貴い遺産である。もしこの遺産がなかったならば、我らは一体何によって導かれて、この人生の旅を続けることができるであらうか。

その貴い遺産の目録ともいうべき「名言集」が、近來統々として刊行されているのは、我らのこの上もない喜びである。我らは少なくともその一冊を座右に置いて、これを熟読し玩味し、先人の教えを空しくしないように努めなければならぬ。

しかしながら、その名言の数は実に天上の星の如く無数である。その中には、ある時ある人にはあまり通用しないものがあるかも知れない。またあるものは言辭がむずかしく、解釈に困難を感ずるかも知れない。よって本辭典は、無数の名言の中、もっとも普遍的にして、またもっとも有意義な、それこそ名言中の名言ともいうべき、東西の名言約千七百語を選び、これに簡単な解釈を加えて親しみ易いものとし、およそ道に志し、人生生活を豊かにせんとする諸兄姉の、座右の書たらんことを期して編集した。幸いにしてこの辭典が、諸兄姉の行く手を照す一燭となることができれば、編者のこの上ない喜びである。

昭和四十四年三月三日

有 原 末 吉

人名項目表

人名・書名項目表

あ
行

人名・書名項目表	
新井白蛾	大養毅
新井白石	井原西鶴
有島武郎	イブセン
アリストテレス	今井慶松
アルキメデス	巖谷一六
アレクサンダー	☆
アンデルセン	ヴィルマン
アントニウス	ヴィンケルマン
☆	上杉謙信
石川丈山	上杉鷹山
石川啄木	ウエスリー
石川理紀之助	上田敏
石田梅巖	ウエプスター(ダニエル)
板垣退助	ウエプスター(ノア)
市川左團次(五代)	ウエリントン
一休	内村鑑三
伊東圭介	ウーラント
伊藤仁斎	☆
伊藤東涯	エウリピデス
雨森芳洲	江川太郎左衛門
	易経
	江島其實
	恵心僧都
	尾崎紅葉
	淮南子
	エビキユロス
	エビクテトス
	エマーソン
	江村専斎
	エラスムス
	エリオット(ジョージ)
	エリオット(ジョン)
	エリザベス
	塩鉄論
	☆
	王充
	欧陽修
	王陽明
	大石良雄
	大國隆正
	大隈重信
	大倉喜八郎
	大町桂月
	大山巖
	岡倉天心
	荻生徂徠

尾崎行雄	78	鹿持雅澄	88	キャンベル	102	クロムウェル	118
オースティン	79	鴨長明	88	旧唐書	103	☆	
織田信長	79	カーライル	88	旧約聖書	103	荆軻	118
オービッツ	79	ガリック	93	キュリー夫人	105	ゲーテ	119
オルコット	79	ガリバルディ	93	堯	105	源信僧都	129
か 行		ガリレイ	93	清沢満之	106	元政上人	129
		河上肇	93	キリスト	106	ケント	130
		河村瑞軒	93	キングスリー	111	源平盛衰記	130
	80	韓 嬰	94	☆		☆	
	80	韓詩外伝	94	楠木正成	111	小泉八雲	130
	83	漢 書	94	クセノフォン	112	孝 経	131
	83	賀川豊彦	94	国木田独步	112	ゴーガン	131
	83	賈 誼	95	クーバー	113	孝謙天皇	131
	84	郭 隗	95	熊沢蕃山	113	孔 子	132
	84	春日潜庵	96	クラーク	114	鴻池善右衛門	143
勝海舟	85	韓 非子	99	グラッドストーン	115	弘法大師	143
葛飾北斎	85	ガンベッタ	100	クリーリー	117	孔明	143
カトー	86	☆	100	クリーブランド	117	吳越春秋	144
加藤清正	86	キケロ	100	厨川白村	117	古賀精里	144
加藤高明	86	魏 志	101	グリルバルツァー	117	後漢書	144
金栗四三	87	北畠親房	101	黒住宗忠	117	コーク	146
カーネギー	87	北村透谷	101	黒田如水	118	国 語	146
嘉納治五郎	87	魏 徵	101	クローディウス	118	古語拾遺	147
上島鬼貫	88	ギボン	102				

人名項目表

坂本龍馬	156	シドニー	180	書經	190	世阿弥	213
サウス	155	実語教	179	聖徳太子	189	☆	212
サイラス	155	十訓抄	179	昭憲皇太后	189	スミス(ウィリアム)	212
斎藤緑雨	155	シセロ	175	貞観政要	188	スミス(アダム)	211
斎藤拙堂	154	子思	175	小学	188	スマイルズ	208
税所篤子	154	シーザー	174	荀子	187	スペンサー	208
菜根譚	153	詩経	173	シユライエルマッヘル	186	ステイール	207
西郷隆盛	152	史記	170	シユベナル	186	スタンダール	207
崔 瑗	152	ジェロルド	170	シユベナル	186	スターン	206
さ 行		シエリ	169	シユタインタール	185	スタール夫人	206
コンドルセ	151	ジェームス	168	朱子	184	スコット	205
コングリヴ	151	シェファースン	167	十八史略	184	スウイフト	204
コルネイユ	150	シエークスピア	161	釈宗演	183	☆	203
コルリッジ	150	ジイド	161	釈月性	183	親鸞上人	203
ゴールドスミス	149	三 国 志	160	釈迦	182	晋書	202
ゴリキー	148	沢柳政太郎	160	下田歌子	182	心地観経	198
小堀遠州	148	サビエル	160	島田三郎	181	シルレル	197
小早川隆景	148	佐藤一斎	158	島津斉彬	181	白河楽翁	194
後藤新平	148	サツカレー	158	渋沢栄一	180	ジョンソン(サムエル)	193
児玉源太郎	147	左氏伝	157	斯波義将	180	ジョンソン(ベン)	191
児島高德	147	佐久間象山	156	司馬光	180	蜀 志	190

孫子	231	チャニング	240	豊臣秀吉	262
ソロモン	231	チャーチル(ヘンリー)	240	トムソン	261
蘇老泉	230	☆	239	富岡鉄斎	261
ソロー	229	ダンテ	239	トーマス(ア・ケンピス)	258
蘇東坡	227	タレン	239	杜牧	258
楚辭	227	ターナー	239	杜甫	258
ソクラテス	226	伊達政宗	238	ドストエフスキー	257
曾我物語	225	橋曙寛	238	徳富蘆花	256
莊子	224	大戴礼	238	徳富蘇峰	255
曾子	223	武田信玄	236	徳川吉宗	254
☆		沢庵和尚	236	徳川光圀	254
潜夫論	223	滝沢馬琴	236	徳川家康	254
千利休	222	滝鶴台の妻	235	東郷益子	253
戦国策	220	高山樗牛	234	東郷平八郎	253
セルバンテス	220	ダーウィン	234	道元禪師	252
ゼノン	216	平重盛	233	陶淵明	252
セネカ	216	太平記	233	☆	
セシル	215	太公望	232	陳勝	242
世説新語	215	大学	232	陳寔	242
清少納言	215	た		中庸	241
説苑	213	行		チャブマン	241
				デユマ	250
				テラー	250
				伝教大師	251
				テンブル(ウィリアム)	251
				☆	
				トウエン	252
				陶淵明	252
				道元禪師	253
				東郷平八郎	253
				東郷益子	254
				徳川家康	254
				徳川光圀	254
				徳川吉宗	255
				徳富蘇峰	255
				徳富蘆花	256
				ドストエフスキー	257
				杜甫	258
				杜牧	258
				トーマス(ア・ケンピス)	258
				トーマス(ベイリン)	261
				富岡鉄斎	261
				トムソン	261
				豊臣秀吉	262

人名項目表

ドライデン	262	☆	波多野精一	291
トルストイ	263	☆	バツクル	291
な 行			服部金太郎	292
ナイティンゲール	268	☆	パッハ	292
中井竹山	268		パトラ	292
中江藤樹	268		パートン	293
中沢道二	269	は 行	楠保己一	293
中根東里	269		林羅山	293
中村敬宇	270		バルザック	294
夏目漱石	270		バロー	294
鍋島直茂	272		班 固	294
ナポレオン	273		バーンズ	295
成瀬仁蔵	274		ハンニバル	295
南条文雄	275	☆	☆	
☆			ビスマルク	296
新島襄	275		ビーチー	296
西 周	275		ビット	296
ニーチェ	275		ヒツポクラテス	297
日 蓮	276		百丈禪師	297
二宮尊徳	277		ピュタゴラス	297
ニュートン	279		ピュツフォン	298
			ピョートル大帝	299
			ヒルティ	299
			広瀬淡窓	299
		☆	☆	
			フィヒテ	300
			フィリッピデス	301
			フィルディング	301
			フィールド	302
			(チエスター)	302
			フォイエルバツハ	302
			フォックス	302
			福沢諭吉	303
			福田行誠	304
			ブーシキン	304
			藤田東湖	304
			藤原腥窩	305
			藤原定家	305
			藤村操	305
			ブリス(ウィリアム)	305
			ブリス夫人	306
			武 帝	306
			フラー	307
			フライ(エリザベス)	307
			フライアント	307
			ブライヤー	308

人名項目表

ブラウタス……………	308	ペトロン……………	328	ポールドウィン……………	342	ミレー……………	355
ブラウニング……………	309	ヘラクレイトス……………	329	本多正信……………	342	三輪執斎……………	356
ブラウン(ジョン)……………	310	ペルネ……………	329	ま 行……………		☆……………	
ブラウン(トーマス)……………	310	ヘルパルト……………	329	マキアヴェリ……………	343	夢想国師……………	356
ブラツキー……………	311	ペン(ウイリアム)……………	330	マコーレー……………	343	紫式部……………	357
ブラトン……………	311	ペンザム……………	330	正岡子規……………	344	村田珠光……………	357
フランクリン……………	313	ヘンリー……………	330	松尾芭蕉……………	344	無量寿経……………	357
フランソア一世……………	313	☆……………		松平定信……………	346	室鳩巢……………	357
フリーチェ……………	319	ホイエルパツハ……………	331	マホメット……………	346	☆……………	
ブルースト……………	319	ホイットティア……………	331	マルクス……………	348	明治天皇……………	358
ブルターク……………	319	ホイットニー……………	331	マルサス……………	348	メストル……………	358
ブルマン……………	320	ホイットマン……………	332	マロー……………	348	メンツエル……………	359
フレッチャー……………	321	法然上人……………	332	☆……………		☆……………	
フレibel……………	321	ボーク……………	333	三浦梅園……………	349	モア……………	359
文子……………	321	法句經……………	333	ミケランジェロ……………	349	孟子……………	359
文天祥……………	322	ボナール……………	334	源義家……………	350	孟母……………	363
フンボルト……………	322	ポーブ……………	334	源義経……………	350	本居宣長……………	364
☆……………		ホーマー(ホメロス)……………	335	三宅弘一……………	351	モリエール……………	364
平家物語……………	322	ホラチウス……………	336	宮本武蔵……………	351	森鷗外……………	365
ペーコン……………	327	ホーランド……………	337	ミユラー……………	352	モルトケ……………	366
ペスタロッツチ……………	328	ポール(ジャン)……………	338	ミル(ジョン・スチュ	352	文選……………	366
ペッティー……………	328	ポール(ジョン)……………	338	ワート)……………	352	モンテスキュー……………	367
ペートーヴェン……………	328	ポルテール……………	339	ミルトン……………	353	モンテニユ……………	368

人名項目表

[illegible]

名言項目表

※ 名言は初句十四字以内

あ

ああ我がよき敵を失えり……………	54
愛ある所常に樂園あり……………	338
愛しすぎるといふことがないの……	374
相手にも発言の機会を与えよ……	216
愛情に乏しいのと金銭に乏しい……	246
藍は藍より出でて藍よりも青し……	187
愛は惜しみなく与う……………	269
愛に恐怖なし。最上の道徳なれ……	57
愛はしばしば結婚の果実である……	364
愛は涙に漬けて保存される時最……	205
愛は万人に、信頼は少数の人に……	161
愛は恵まれるもので、買われる……	417
悪行はさらに多くの悪行をつぎ……	198

悪書は知的な毒薬であり精神を……	299
悪書を読まないことは良書を……	191
悪銭は身につかない。それは容……	398
悪人は飲食するために生活し……	519
悪人は非を飾ろうとし、善人は……	194
悪は小なるを以て之を為すこと……	160
悪をも善とし、仇をも味方とす……	161
朝夕の食事は、うまからずとも……	239
アジアは一つ……………	78
悪しき実を結ぶ善き木はなく……	106
朝に道を聞けば、夕に死すとも……	132
朝には紅顔あつて夕には白骨と……	412
足の皮は厚きがよし、面の皮は……	349
あすか川の淵瀬常ならぬ世……	878
明日為すべきことは今日これを……	313
明日何を為すべきかを知らない……	148
明日のことを思い煩うなかれ……	106
明日は何を為すべきか。これは……	48
明日は何かかなると思う馬鹿者……	117
吾妻はや……………	370
新しき酒は新しき草袋に盛れ……	106
あなおもしろ、あなたのし……	147
あなたがたとえ水のように清潔……	181
あなたがもし忠実なる家僕を……	299
あなたのお仲間を見れば、あな……	230
あなたの針箱の中を見て下さい……	88
あなたはこのような夕焼けを見……	239
貴女は二年半おくられてしまいま……	234
あなたはよく同じ歌を歌う……	239
穴を掘る者はみずからこれに陥……	103
姉が先に行くのが当たり前よ……	105
危ぶむこと淵に臨むが如く……	132
天野屋利兵衛は男でござる……	43
余りに考え過ごす者は何事も……	108
余りに望みを高くして目前の職……	64
余りに早く高くなった名は……	389
天地の恵み積みおく無尽蔵歟……	277
過ちては則ち改むるに憚かるこ……	132
あらあらしい毒づいた言葉は……	374
争いの初めは堤より洩れる水の……	103
改めて益なきことは改めぬをよ……	378
アラは汝がどこへ行くとも共……	346
あらゆる芸術の士は、人の世を……	270
あらゆる宗教は道徳をその前提……	96
あらゆる職業のうち、最も生産……	175
あらゆる人智のうちで、結婚に……	294

生きたるための職業は、魂の生活……	43	生きたるというのは考えるという……	100
イギリスは各員がその義務を遂……	279	生きたるとは呼吸することではな……	403
怒りを遷さず過ちを忒びせず……	132	幾千万とある顔のうちに同様な……	310
怒りは無謀を以て始まり後悔を……	297	石に立つ矢のためしあり……	170
怒りは敵と思え……	254	偉人の達した高峯は一躍地上か……	309
如何に弱き人と雖も、その全力……	84	出ずる月を待つべし。散る花を……	269
如何に長く生きたかではなく……	216	いづれか悪、いづれか美、成る……	224
如何に年老いても、もう一年生……	175	急いで結婚する必要はない。結……	264
如何なる装飾品も、優しい婦人……	73	急がずしかも休まず……	119
如何なる賢人にも他人の忠言が……	258	偉大な芸術とは、芸術的才能に……	386
いかなる女なりとも、明け暮れ……	279	偉大な書画を見る時は王侯に接……	148
家の中に住むために建てるので……	323	偉大なものすべてが善ではない……	250
坂垣死すとも自由は死せず……	49	一樹の陰一河の流れも他生の縁……	130
一丈の堀をこえんと思わん人は……	392	一事をよく為す者は多くをよく……	259
一善微なりと雖も。日に養うて……	50	一道万芸に通ず……	351
一度に多くの事をしようとする……	400	一度の冗談で十人の人から軽蔑……	306
一日一字を記さば一年にして三……	381	一日作さざれば一日食わず……	297
一日の計は鶏鳴にあり。鶏鳴に……	287	一日延しは時の盗人である……	55
一日延しは時の盗人である……	55	一日見ざれば三秋の如し……	179
一日善いことをしなかつたら……	417	一年の計は穀を樹うるにあり……	95
一枚の鏡は一堂に充つる祖先の……	359	一夜君と共に語る十年書を説……	245
一葉落ちて知る天下の秋……	60	一を聞いて十を知る……	132
一管の筆で百年の説教ができる……	256	一犬形に吠ゆるれば、百犬声に吠……	223
一國の繁栄如何は国民の健康如……	246	一切衆生の尊敬すべきも三あり……	276
一週の間、蒙ったこの世の汚れ……	194	一生の仕事を見出した人は幸福……	89
いつまでも若くありたいと思ふ……	115	いつしよに泣くことほど、人の……	403
いつも鉛筆を懐ににして、おりお……	323	井戸を掘るなら水の湧くまで掘……	48
一杯は人酒を飲み、二杯は酒酒……	223	一夫耕やさざれば天下その饑を……	144
一方に社会の進歩があることも……	253	一片の義心東すべからず……	43
古の君子その過つや日月の食の……	359		

名言項目表

犬はよく吠ゆるを以て良となさ……………	224
命長ければ恥多し……………	105
命も要らず名も要らず、官位も……………	152
今できないことは十年たつても……………	49
いま時の若い者はなどと、口は……………	371
今の世、打ち寄り群がり飲むは……………	197
いやしくも疑う所あらば、むし……………	286
衣類は木綿つむぎの類たるべく……………	86
入るを量って出づるを為す……………	383
飲酒の十徳。礼を正し、労をい……………	369
殷鑒遠からず夏後の世にあり……………	359
飲食・睡眠・運動の時間に……………	323
陰徳あれば必ず陽報あり。陰行……………	60
インドの全財産をあげても……………	102

う

ウエストミンスター寺院に葬ら……………	280
ウォータローの戦勝はイート……………	56
憂きことのなこの上に積もれ……………	113
うそ言うな、物はしがるな……………	238
嘘を言うべからず候……………	369
歌に師匠なし……………	305

疑は人間にあり天に偽なきもの……………	288
疑わしき事は問うを恥ずべから……………	73
内に省みて疾しからずんば……………	193
うちのユーゴーのためなら垣根……………	377
宇宙とともに生きよ……………	198
宇宙は一大都市であり、相親愛……………	63
宇宙は生命の活動である……………	339
有頂天の歓善は常に悲哀に転ず……………	221
美しい女にはやがて飽きがくる……………	368
美しい姿は美しい顔に勝り……………	65
美しいバラは刺の上に開く……………	212
生まれつき短気ということある……………	48
生まれて二十年になる者は……………	248
生まれる時に泣き声をあげ……………	251
海と大気とは何人にも共有であ……………	74
生みの悩み……………	45
産めよ殖えよ地に満てよ……………	109
美わしき女の憤みなきは金の環……………	104
運の悪い人は安心せよ。それ以……………	79
運命は神の考えるものだ。人間……………	271

え

益者三友損者三友あり……………	133
益者三楽、損者三楽あり……………	133
エクセルシヨアExcelsior……………	418
絵は見るものじゃない。一緒に……………	411
演劇における役者も人を教導す……………	119
燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや……………	242
遠方に友を持つと世の中が広く……………	229

お	
老いはわれわれの顔よりも心に……………	368
老いより見たる若きが仕草は滑……………	155
王侯将相いずくんぞ種あらんや……………	170
王であれ農夫であれ、自分の家……………	119
多くの事をするのは易いが……………	193
多くの仕事をしようとする人は……………	415
多くの失錯は意とするに足らぬ……………	393
多くの友を有する者は一人の友……………	45
多くの人は自分以外の人間はす……………	372
多くの人は放縦のことを自由だ……………	353
多くの若者たちは、ぶしつけと……………	395
おお女性よ。天は男を和らげん……………	395

名言項目表

多すぎる休息は苦痛である……………	335
お眠りよ。おお優しき眠りよ……………	259
大文字ばかりで印刷された本は……………	234
小川のせせらぎにも、草の葉の……………	232
臆病でためらいがちな人間にと……………	205
怒る時は祈れ……………	403
お世辞を言うのは易いが、人を……………	229
落ちんがために舞いあがるより……………	307
男がどんなに理屈を並べても……………	339
男にとって女は弓の弦のような……………	418
男の愛はその生活の一部であり……………	282
男は内を言わず、女は外を言わ……………	383
男は将来に向かって努力し……………	120
男は働かねばなぬ。女は泣か……………	111
男らしい独立と服従、自信と……………	422
驚くうちは楽しみがある。女は仕……………	271
おのれに關係なき事柄に興味を……………	120
おのれの伎倆を隠すのは大きな……………	395
おのれの子女に囲まれて息を引……………	117
おのれの職分を守り黙々として……………	421
おのれの欲せざる所、人に欲す……………	133
おのれを知る者は賢者である……………	242
おのれを制し得ない者は自由人……………	298

おのれを尊ぶ者は万人これを尊……………	120
おぼしきことを言わぬは腹ふく……………	379
思い内にあれば色外に現わる……………	213
おもしろの酒宴や、本心を失わ……………	143
親は苦勞する。その子は楽する……………	60
親を愛する者は人を恵まず……………	131
親を思う心にまさる親心……………	331
およそ事業をするのに必要な……………	399
およそ思慮は黙坐静思の際にお……………	152
およそ書を読むに流覽十過は熟……………	51
おれは自分の骨を削って書いて……………	78
おろかなる者は思うこと多し……………	344
お若く見えますね、と言われた……………	39
終わりを憤むこと初めの如くな……………	413
音楽だけは世界語であって……………	40
音楽のある所、悪いものは有り……………	221
音楽はあらゆる智慧や哲学より……………	328
音楽は神が我らに与えたものの……………	403
音楽は人類の共通語である……………	418
音楽は精神の中から日常生活の……………	40
音楽は精神の中から日常の塵埃……………	292
音楽は人間の情欲を浄化する最……………	273
音楽は蛮夷の心をも和らげる力……………	151

音楽は人の心を穩やかにし……………	403
女がいなかったら男は神々の如……………	249
女にとっては、沈黙で謙遜で静……………	58
女にも武器あり。曰く涙これな……………	77
女の最大の欠点は男のようにな……………	353
女はおのれをよろこぶ者のため……………	170
女は位を内に正し、男は位を外……………	59
女はしばしば心変わりする……………	318
女はとかく多弁でいけない……………	271
女はやわらかに心うつくしきな……………	357
女は弱し。されど母は強し……………	162
恩を報ずるのに余りに早急なの……………	295

か

快活な気性はあたかも春の日の……………	333
快活な精神がなければ何人も詩……………	65
絵画は何たる虚栄であらう……………	233
絵画は無声の音楽であり、音楽……………	150
絵画は私の妻で、私の手にな……………	349
外国の一単語を記憶するには……………	303
外国品をあまり忌避するもので……………	198

買人が氣に入らず返しに來たら……	423	影る雲の奥に光る星あり……	375	家庭は民族の幸福と不運の源泉……	403
快楽は求むべきものではなく……	44	嘉肴ありといえども、食わざれ……	383	家庭よ。汝は道德上の学校なり……	327
鏡は一物をたくわえず。私の心……	101	過去を思い、現在に働き、未来……	246	家庭をよくし得ない女は、どこ……	264
画家も長生きしなければよい作……	261	過去を顧みず現在を充実させ……	418	瓜田に履を納れず、李下に冠を……	366
家居は夏を旨とすべし。冬はい……	379	過去を忘れよ……	77	悲しみは精神の錆であり、活動……	194
格言とか名言とかいうものは……	304	貸した金の額が少なれば債務者……	216	金で書いたものではありません……	288
確實な平和は期待される勝利に……	295	賢き女はその夫の冠となる……	104	河に臨みて魚を羨むは家に帰り……	61
確實に幸福な人となるただ一つ……	264	賢くなることを明日に延ばすな……	151	金のないのは悲しいことだ……	264
各自の運命は各自の手中にある……	212	過失をするのは恥ずかしいこと……	404	金を貸せば金と友人とを失う……	162
各自の天性に最も適合した職業……	212	嫁して人の妻となるは難し……	254	金を借りに行くのは愁を招きに……	323
学者になる學問は容易であるが……	85	樞の太木は倒されても、幾百の……	89	彼女の徳行は親切に見てやれ……	308
学生よ勤勉なれ。この語の中に……	89	樞の実は樞の木に……	385	禍福は天上より出ずるにあらず……	213
学生をして自重の風を養わしめ……	42	家事を働いている女の人、それ……	76	禍福は天にあるにあらず、人の……	342
鶴台先生のような方の妻となり……	236	家人過ちあるも激怒すべからず……	415	神が人間を多数のものとしたの……	217
學道に勤勞して他事を忘るれば……	253	家政のために心を尽し夫の仕事……	153	神と惡魔が戦っている。その戦……	357
學はすべからく靜なるべし……	143	苛政は虎よりも猛し……	353	神に対する人間の義務の履行は……	176
學問と藝術とは肺臓と心臓のよ……	264	風雨々として易水寒し、壯士……	383	神の愛する者は天折する……	282
學問とは僅少の時日の間に古今……	349	価値ある人生は長し……	119	神の合わせ給えるものは、これ……	107
學問は置き所によつて善惡分る……	349	価値ある創作は作者の孤独な時……	373	神の怒りは一時のものであり……	136
學問は飯と心得べし。腹に飽く……	349	学校とは学生自身の頭腦である……	120	神の有無は、二十年考えても二……	90
學力を増進するのは、多読では……	408	学校を開く者は監獄を閉じる……	89	神の前には、あなたも私も平等……	56
隠れたるより見るはなく……	241	渴しても盜泉の水を飲まず熱……	375	神は完全無缺である。その完全……	121
學を廢するは機を斷つが如し……	363			神は謙讓なる者の心に宿るを樂……	73